

-----  
[ 成果情報名 ] デンファレのバルブ切除によるリードの発生促進

[ 要約 ] デンファレ「エマーホワイト」および「リンリン」では、9～10月に花茎を含むバルブの上位3節を切除すると、次世代リードの発生が著しく促進される。切除処理時に高温処理を行うと、促進効果がさらに大きくなる。

[ キーワード ] デンファレ、鉢物、バルブ切除、リード

[ 担当部署 ] 花き部・花き栽培チーム

[ 連絡先 ] 092-922-4958

[ 対象作物 ] 花き・花木

[ 専門項目 ] 栽培

[ 成果分類 ] 新技術  
-----

[ 背景・ねらい ]

デンファレの需要期は5月から8月までの4カ月間であるが、開花調節技術が確立していないことから、需要期の出荷割合は4～6割程度と低く、このことが、デンファレ経営が安定しない大きな要因となっている。

本種は、新たなリードが発生すると開花まで5～6カ月を要することから、リードの発生時期の調節によって開花調節が可能である。そこで、第3世代バルブの切除や加温方法について検討し、(第4世代)リード発生方法を確立する。

[ 成果の内容・特徴 ]

1. デンファレの花茎を含むバルブの上位3節を切除すると、「エマーホワイト」および「リンリン」のいずれの品種も、リードの発生が著しく促進される(表1)。
2. 「リンリン」では、第3世代バルブを切除した場合や、9～11月に1カ月間高温処理(昼温32 / 夜温25 )すると、リードの発生が促進される(表2)。
3. 「エマーホワイト」では、第3世代バルブを切除するとリードの発生が促進されるが、高温処理の効果は「リンリン」に比べて小さい(表3)。

[ 成果の活用面・留意点 ]

1. デンファレのリード発生促進技術として活用できる。
2. バルブの切除時期と開花および開花時の品質については、栽培温度や施肥量、株の充実程度等によって異なるので検討を要する。

具体的データ]

表1 花茎切除方法がリードの発生および開花に及ぼす影響

| 品 種     | 花茎切除<br>方法 | リード発生株率    |           |
|---------|------------|------------|-----------|
|         |            | 10/31<br>% | 3/19<br>% |
| エマーホワイト | 花茎のみ       | 70         | 100       |
|         | バルブ        | 100        | 100       |
| リンリン    | 花茎のみ       | 10         | 100       |
|         | バルブ        | 90         | 100       |

注)花茎切除時期:9月17日

表2 高温処理およびバルブ切除と第4世代リードの発生(品種:リンリン)

| 高温処理<br>開始時期 | バルブ切除<br>処理時期 | リード発生株率(%) |       |       |       |      |       |
|--------------|---------------|------------|-------|-------|-------|------|-------|
|              |               | 9/30       | 10/15 | 10/30 | 11/15 | 12/1 | 12/15 |
| 無処理          | 無処理           | 0          | 0     | 0     | 77    | 80   | 83    |
| 無処理          | 9月10日         | 0          | 0     | 0     | 100   | 100  | 100   |
|              | 10月10日        | 0          | 0     | 0     | 100   | 100  | 100   |
|              | 11月11日        | 0          | 0     | 0     | 0     | 100  | 100   |
| 9月10日        | 9月10日         | 90         | 100   | 100   | 100   | 100  | 100   |
|              | 無処理           | 47         | 83    | 100   | 100   | 100  | 100   |
| 10月10日       | 10月10日        | 0          | 56    | 100   | 100   | 100  | 100   |
|              | 無処理           | 0          | 50    | 84    | 94    | 97   | 97    |
| 11月11日       | 11月11日        | 0          | 0     | 0     | 100   | 100  | 100   |
|              | 無処理           | 0          | 0     | 0     | 92    | 94   | 97    |

注)1.第3世代偽球茎下位節から発生した新芽が約1cmとなった株の割合  
2.高温処理 昼温32/夜温25 (切除処理後1ヵ月間)

表3 高温処理およびバルブ切除と第4世代リードの発生(品種:エマーホワイト)

| 高温処理<br>開始時期 | バルブ切除<br>処理時期 | リード発生株率(%) |       |       |       |      |       |
|--------------|---------------|------------|-------|-------|-------|------|-------|
|              |               | 9/30       | 10/15 | 10/30 | 11/15 | 12/1 | 12/15 |
| 無処理          | 無処理           | 0          | 0     | 0     | 27    | 54   | 60    |
| 無処理          | 9月10日         | 0          | 0     | 0     | 97    | 100  | 100   |
|              | 10月10日        | 0          | 0     | 0     | 100   | 100  | 100   |
|              | 11月11日        | 0          | 0     | 0     | 0     | 100  | 100   |
| 9月10日        | 9月10日         | 29         | 100   | 100   | 100   | 100  | 100   |
|              | 無処理           | 7          | 10    | 47    | 47    | 90   | 90    |
| 10月10日       | 10月10日        | 0          | 4     | 73    | 94    | 100  | 100   |
|              | 無処理           | 0          | 6     | 17    | 44    | 57   | 57    |
| 11月11日       | 11月11日        | 0          | 0     | 0     | 15    | 94   | 97    |
|              | 無処理           | 0          | 0     | 0     | 7     | 50   | 57    |

注)1.第3世代偽球茎下位節から発生した新芽が約1cmとなった株の割合  
2.高温処理 昼温32/夜温25 (切除処理後1ヵ月間)

[その他]

研究課題名:デンファレの春、夏出し栽培法の確立

予算区分:経常

研究期間:平成15年度(平成14~15年)

研究担当者:坂井康弘、國武利浩、松野孝敏、黒柳直彦、巢山拓郎